

令和8年度 北海道中学校体育大会 陸上競技大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表選手・チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が 31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の 17 時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技の基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【陸上競技大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

- ・こまめなアナウンスによる注意喚起（気象条件、水分補給など）
- ・タイムテーブルの工夫
（長距離種目を最初と最後の方に実施及び一斉に休憩する時間の設定）
- ・フィールド競技の待機場所にテントを設置し、日陰を確保
- ・3000mにおいては、状況により競技中に水分補給ができるよう準備
- ・1時間に1回のWBGT測定
- ・WBGTが 31℃以上となった場合は、活動を一時中断し、以降の競技運営の見直しなどを検討

● 競技が進行できない場合の代表チーム（リレー競技）の選出方法

- ・大会自体が中止となった場合は、申込記録ランキング最上位のチームを代表とする。
- ・予選のみ行えた場合は、予選の記録の最上位チームを代表校とする。
- ・準決勝を行えた場合は、準決勝の記録の最上位チームを代表校とする。
- ・各ラウンドとも途中で中止となった場合は、それ以前のラウンドの結果により代表